

## ( 行政視察・政務活動・議員研修 ) 報告書

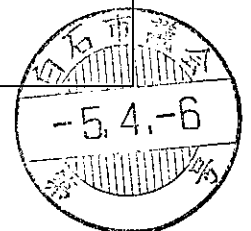
令和 5 年 4 月 6 日

白石市議会議長 小川正人 殿

議員氏名 四 竈 英 夫

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	令和 5 年 3 月 22 日 (水) ~ 3 月 23 日 (木)
調査・研修先	西村明宏環境大臣表敬訪問及び衆議院第 2 議員会
調査事項 (研修事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文部科学省 ①不登校特例校について</li> <li>●国土交通省 ①白石市内国道 4 号拡幅について</li> </ul>
対応者・講師等 概 要 ① 背景・目的 ② 内容・特色 ③ 主な質疑 ④ 考察 (感想、課題、 政策提言応者・ 講師等	<p>【講師】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文部科学省 総合教育局 男女共同参画共生社会学習・安全課 課長補佐 時枝正和氏 初等中等教育局 児童生徒課 生活指導室 課長補佐 大野照子氏 生徒指導第一係 岡本真穂氏 生徒指導調査分析係 松田明子氏</li> <li>●国土交通省 道路局企画課道路経済調査室 課長補佐 野村文彦氏 調査第三係 北川健氏</li> </ul> <p>【テーマ：白石市立南中学校・南小学校の開校に当って】</p> <p>★背景と目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校特例校は全国で 21 校しており、全国 300 の市町村で設置を計画している。令和 2 年の不登校の生徒は全国で 19.6 万人、令和 3 年には 23.4 万人と増加している。不登校は小学校より中学校の方が多。</li> </ul> <p>★特色</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の基準によらず特別に編成された教育課程(文科省認可)に基づく教育を行う学校である</li> <li>・学校らしくない学校、体験学習を中心に運営して行きたい</li> <li>・一定期間学校を休んでいる児童生徒のための学校であり、必ずしも毎日登校しなければならないことはない</li> </ul>



	<p>★今後の運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何人の入学希望があるかによって教職員の体制が決まるので、前例では人で人員不足の課題もあげられる</li> <li>・地域の人たちから特殊な学校という目で見られることが多い。ネガティブなイメージで見られる。地域の理解が必要だと思う</li> <li>・家庭内での理解も必要だ。親は入学を希望しても祖父場が反対する事例もあった</li> <li>・将来児童生徒数が減少した場合、学校の存続はどうなるのかも課題である</li> <li>・子どもは地域の宝であるとの意識の醸成を図り温かい見守りが必要である</li> </ul>
	<p>【テーマ・白石市内の国道4号線拡幅の検討状況について】</p> <p>① 現状：国道4号線は大平から越河までが2車線のため、大雪が降ったり、東北道が通行止めになった場合には渋滞が発生する。白石ICから国見ICまでの東北道通行止め発生回数は平成24年から令和3年までの10年間で137回と県内最多である。(2位は古川～築館間の125回)</p> <p>越河から福島県境までは一部登坂車線が設けられ、ある程度の渋滞の緩和は図られているが最終的には全線の4車線化が必要である。今後(仮称)白石スマートICが供用開始されればさらに交通量の増加が予想される。よって、今後の事業計画の見通しについて研修を行った</p> <p>②計画段階評価の進め方(案)</p> <p>★意見聴取(第1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見聴取内容(地域、道路の課題・求められる道路機能)</li> <li>・意見聴取方法(アンケート実施：地域住民・道路利用者・企業等)</li> <li>・ヒアリング(関係自治体・団体・企業等)</li> </ul> <p>★東北地方小委員会(第2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回意見聴取結果の確認</li> <li>・政策目標の決定</li> <li>・評価項目の決定</li> <li>・対応方針(複数案)の設定</li> <li>・意見聴取方法(案)</li> </ul>

	<p>★意見聴取(第2回)意見聴取内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・対応方針(複数案)の検討に対し重視する項目</li><li>・意見聴取方法(アンケート：地域住民・道路利用者・企業)</li><li>・ヒアリング(関係自治体・団体・企業等)</li></ul> <p>★東北地方賞委員会(第3回)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・第2回意見聴取結果の確認</li><li>・対応方針(概略ルート・構造等)</li></ul> <p>●対応方針(概略ルート、構造)の決定</p> <p>③4車線化の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・脆弱なダブルネットワークにおける、代替道路としての機能向上</li><li>・県内平均を上回る事故危険性対策として交通安全の確保</li><li>・不安定な物流ネットワークの解消。物流・地域産業を支える幹線道路の強化</li><li>・不十分な救急搬送環境対策として、安定した救急搬送ルートの確保</li></ul> <p>④今後の見通し</p> <p>今回の4車線化対象区間は大平森合(D2)前～斎川信号までの3km区間である。これが実現すれば、引き続き越河までの4kmとなり、仙台～福島までの全線が4車線化完了となる。早期に評価対象区間になることを要望した。</p>
--	---